

岩手県公安委員会告示第 11 号

警備業法（昭和 47 年法律第 117 号。以下「法」という。）第 22 条第 2 項第 1 号に規定する警備員指導教育責任者講習を次のとおり行う。

平成 19 年 10 月 19 日

岩手県公安委員会

委員長 佐藤 ソノ子

1 講習に係る警備業務の区分、日時及び場所

警備業務の区分	日 時	場 所
法第 2 条第 1 項第 1 号に掲げる警備業務	平成 19 年 11 月 21 日(水)から同月 29 日(木)まで（日曜日、土曜日及び祝日を除く。）。各日とも、午前 9 時から午後 5 時まで	岩手県盛岡市紺屋町 2 番 9 号 盛岡市勤労福祉会館
法第 2 条第 1 項第 2 号に掲げる警備業務	平成 19 年 11 月 21 日(水)から同月 28 日(水)まで（日曜日、土曜日及び祝日を除く。）。各日とも、午前 9 時から午後 5 時まで	岩手県盛岡市紺屋町 2 番 9 号 盛岡市勤労福祉会館

2 講習定員 各 25 人（定員に達した場合は、申込みを打ち切る。）

3 受講対象者

- (1) 最近 5 年間に当該警備業務の区分に係る警備業務に従事した期間が通算して 3 年以上である者
- (2) 警備員等の検定等に関する規則（平成 17 年国家公安委員会規則第 20 号。以下「検定規則」という。）第 4 条に規定する 1 級の検定（当該警備業務の区分に係るものに限る。）に係る法第 23 条第 4 項の合格証明書（以下「合格証明書」という。）の交付を受けている者
- (3) 検定規則第 4 条に規定する 2 級の検定（当該警備業務の区分に係るものに限る。）に係る合格証明書の交付を受けている警備員であって、当該合格証明書の交付を受けた後、継続して 1 年以上当該警備業務の区分に係る警備業務に従事しているもの
- (4) 検定規則附則第 3 条の規定による廃止前の警備員等の検定に関する規則（昭和 61 年国家公安委員会規則第 5 号。以下「旧検定規則」という。）第 1 条第 2 項に規定する 1 級の検定（当該警備業務の区分に係るものに限る。）に合格した者
- (5) 旧検定規則第 1 条第 2 項に規定する 2 級の検定（当該警備業務の区分に係るものに限る。）に合格した警備員であって、当該検定に合格した後、継続して 1 年以上当該警備業務の区分に係る警備業務に従事しているもの

4 受講手続

- (1) 受付期間 各講習とも、平成 19 年 11 月 1 日(木)から同月 6 日(火)まで（日曜日及び土曜日を除く。）の午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分までの間
- (2) 受付場所 岩手県内の警察署
- (3) 提出書類
 - ア 警備員指導教育責任者講習受講申込書 1 通（写真（申込前 6 月以内に撮影した無帽、正面上三分身、無背景の縦の長さ 3.0 センチメートル、横の長さ 3.0 センチメートルのもの）をはること。）
 - イ 次に掲げる受講対象者の区分に応じ、それぞれ次に定める書類
 - (ア) 3(1)に掲げる者 当該警備業務の区分に係る警備業務に従事していたことを疎明する警備業者等の作成する書面（以下「警備業務従事証明書」という。）及び履歴書
 - (イ) 3(2)に掲げる者 合格証明書の写し
 - (ウ) 3(3)に掲げる者 合格証明書の写し及び警備業務従事証明書
 - (エ) 3(4)に掲げる者 旧検定規則第 8 条に規定する合格証（以下「旧合格証」という。）の写し
 - (オ) 3(5)に掲げる者 旧合格証の写し及び警備業務従事証明書
 - ウ 代理人が提出する場合は、本人からの委任状

5 受講手数料 次に掲げる警備業務の区分に応じ、それぞれ次に定める金額を、受講申込書提出時に、岩手県収入証紙により納付すること。

(1) 法第2条第1項第1号に掲げる警備業務 47,000円

(2) 法第2条第1項第2号に掲げる警備業務 38,000円

6 講習業務の委託 本講習は、社団法人岩手県警備業協会に委託して実施する。

7 その他

(1) 各講習とも、初日は、午前8時40分までに集合すること。

(2) 講習には、筆記用具及び印鑑を持参すること。

(3) 各講習とも、最終日に、筆記の方法による修了考査を行う。

(4) 講習の詳細については、岩手県警察本部生活安全企画課又は最寄りの警察署に問い合わせること。